

観光 ～ 外国人観光客の誘致に向けた取り組み ① 交通アクセスの向上 ～

四国内の空港は、国際線の新規就航や既存路線の新規就航や既存路線の増便等を進めており、外国人降客数が大幅に増加している。更なる利用拡大に向けて、国際線就航に向けた取り組みを着々と進めているほか、空港からの二次交通の拡充等を進めている。

国際線の就航状況

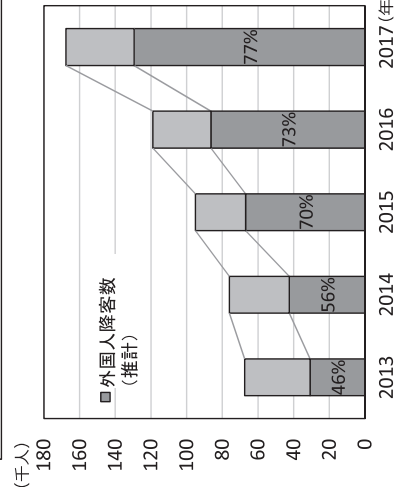
路線	開設	便数	新規就航・増便の動き
高松	1992年	週7往復	2018年増便 (5→7)
台北	2013年	週7往復	2019年増便 (6→7)
上海	2011年	週5往復	2017年増便 (4→5)
香港	2016年	週4往復	
松山	2004年	週2往復	
山形	2017年	週5往復	2018年増便 (3→5)
台北	2019年	週2往復	2019年新規就航

徳島空港：期間限定で初の国際定期便として香港線が就航。(2018.12～2019.3)
高知空港：羽田、関西国際空港との間にLCCが就航(2018.12～)

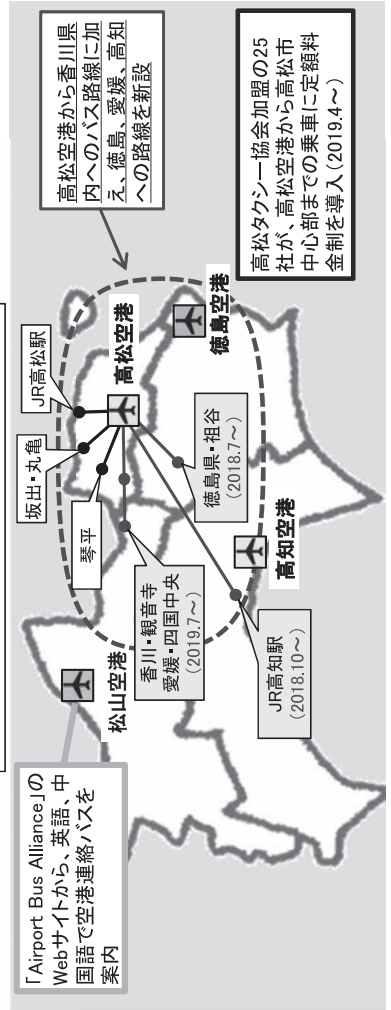
国際線就航に向けた取り組み

高松空港	松山空港
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 旅客ターミナルの整備等 → 旅客ターミナルの増築や事務棟の新設、駐車場の容量の拡大、エプロンの拡張等を計画。現在、事務所棟を建築中(2019.7竣工予定) ▶ 国際線の着陸料を原直し(2019.4～) → 新規就航、増便等に対する割引制度を導入 ▶ 搭乗率に応じた料金体系へ変更し、航空会社の需要変動リスクを軽減 ▶ 神戸税関が高松空港出張所を開設(2018.7) → 出入国手続きが円滑化。神戸税関管内における空港出張所は広島、岡山に次ぐ3カ所目 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 国際線ビルをリニューアル(2019.1～3) → 搭乗待合室の座席数増(168席→192席)のほか、免税店の面積を増床(1.5倍)など ▶ 国際線スポット(駐機場)増設を国に要望中。実現した場合に備えて、国際線ビル拡張について整備案を検討
	徳島空港
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 国際線に対応した新ターミナルが完成(2018.1)
	高知空港
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 国際線に対応した新ターミナルの整備を計画(2021年度供用開始)

四国4県空港 利用状況【国際線降客】



空港からの二次交通の拡充



【出典】空港管理状況調査(国土交通省)、出入国管理統計表(法務省)より作成

観光 ～ 外国人観光客の誘致に向けた取組み ② 地域資源の価値化 ～

瀬戸内国際芸術祭【香川県】

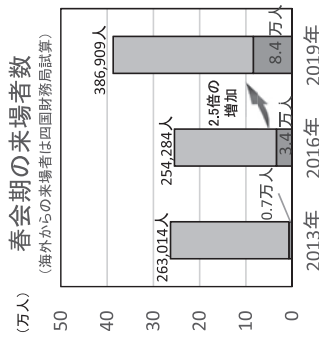
- ▶ 香川県では、2010年から3年に1度、瀬戸内海の離島の活性化を目指し、現代アートの祭典として「瀬戸内国際芸術祭」を開催。今年が4回目となる「瀬戸内国際芸術祭2019」を開催。(春会期:4/26～5/26、夏会期:7/19～8/25、秋会期:9/28～11/4)。
- ▶ 「NATIONAL GEOGRAPHIC TRAVELLER (ナショナル・ジオグラフィック・トラベラー)誌 英国版」で「2019年行くべき destinations」に「SETOUCHI(瀬戸内)」が第1位になるなど世界の旅行市場に影響力を持つ多くの旅行雑誌等で紹介され、海外からの注目が高まっている。
- ▶ 今回の春会期では、前回の(2016年)の1.5倍にあたる386,909人が来場。四国財務局が試算したところ、今回の春会期では、海外から来場者が前回(2016年)の2.5倍にあたる8.4万人となっており、来場者全体を押し上げている。
- ▶ なお、瀬戸内国際芸術祭実行委員会総括報告書によると、芸術祭開催の経済波及効果は、2013年が132億円、2016年が139億円となっている。



【写真提供】瀬戸内国際芸術祭実行委員会
(期間限定)赤かぼちや(2006年) (徳島・宮川瀬緑地 写真:青地大輔)

瀬戸内国際芸術祭2019会場

春夏秋 開催	直島 / 豊島 / 女木島 / 男木島 / 小豆島 / 大島 / 犬島 / 高松港周辺 / 宇野港周辺 / 沙弥島
春のみ 開催	本島 / 高見島 / 栗島 / 伊吹島



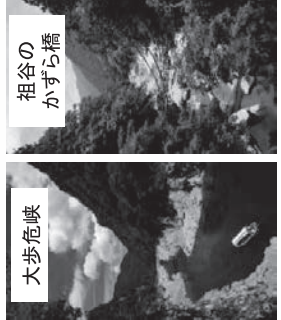
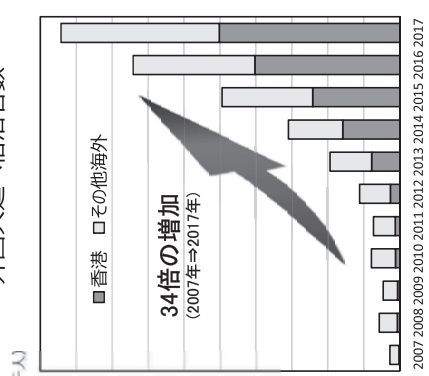
【2013年、2016年の外国からの来場者調査方法】
春会期の来場者数×抽出アンケート調査による通期の外国からの来場者比率(1,000人未満四捨五入)
【2019年の外国からの来場者の調査方法】
春会期の来場者数×抽出アンケート調査による春会期の外国からの来場者比率(1,000人未満四捨五入)
【出典】瀬戸内国際芸術祭実行委員会総括報告書、及び瀬戸内国際芸術祭実行委員会の仮集計値をアレンジ

おおほけ・いや 大歩危・祖谷温泉郷【徳島県】

- ▶ 徳島県の大歩危及び祖谷地域は、四国の中央部に位置する山間部の過疎地域。
- ▶ 地域に点在する温泉を「大歩危・祖谷温泉郷」と名付けて「地域のパッケージ化」に取り組み、2007年頃から秘境(※)である点を前面に打ち出し、都会的な香港にいち早くプロモーションを実施。また、小中学生による観光ガイドなど「人」を紹介するおもてなしを重視し、地域住民と一体になって受入れ態勢の整備に取り組んだ。
(※)祖谷渓谷は、白川郷(岐阜県)、権葉村(宮崎県)と並ぶ「日本三大秘境」の1つといわれる。
- ▶ その結果、香港を中心に外国人観光客が増加(宿泊者数が10年間で34倍)。宿泊施設に関しては、もともと客足が少なかった時期を外国人観光客が押し上げ、客室稼働率の向上が図られている。



外国人延べ宿泊者数



【出典】大歩危・祖谷いってみる会